

第 19 回通常総会議案書

2019 年度（第 18 期）事業活動報告及び決算書
＜平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日＞

2020 年度（第 19 期）事業計画及び予算書（案）
＜令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日＞

必着日時	2020 年 5 月 15（金）
締切時間	17：00
総会形式	みなし総会（書面にて）
集票場所	FG21 事務局

2019年事業報告

事業全体

我々、NPO 法人 FG21 は永遠のテーマである「理想の森づくり」を探求続けてきました。特に藪化した竹林の整備と竹材の資源化につき模索を続けております。竹は林地構成比で見ると 1%にも満たないマイナーの植樹ですが「かんぽ生命保険」の支援と NPO 法人蔵前バイオエネルギーとのコラボレーションにより 3 年続けてシンポジウムを開催もできました。このシンポジウムで竹林の情報を発信続けてきたことから現代農業、現代林業、林業新知識等専門の書籍が我々の書いてきたレポートに注目してもらえるようになり、竹が起因している問題、竹材の有効資源化等竹がメジャー化になりつつあります。我々が訴えてきたことが認めれらつつあるかと思えます。

令和元年度は 4 月 7 日巨樹古木めぐりの応援に始まり、令和 2 年 3 月 8 日第 118 回理事会を最後に、全工程を事故もなく無事終了しました。本年度は台風や長雨等の天候不順により計画の見直しが多くなりました。さらに今年 1 月から新型コロナウイルスの汚染拡散により日本列島が脅威に陥り、例年 3 月に「葦刈り」が行われる邑楽町多々良沼の作業は突然の中止になるハプニングもあり中止・延期になることが多く見られました。

FG21 は、過去 18 年間「理想の森づくり」を掲げて実践型林業ボランティアとして活動を続けており、現在もさらにこれからも群馬の森や山と対峙して森や山の声を聴き FG21 会員と共に精進してゆく所存です。

令和元年度事業報告にあたり群馬県緑化推進委員会をはじめ、われわれ FG21 を支えてくださる関係各団体に厚く御礼を申し上げます。この 1 年会員の皆様方と安全第一に業務を遂行して、なし終えた喜びを共有でき終えてほっとしております。

1. 事業内容（特筆する内容）

1) 理想の森づくり

里山の整備 高崎・観音山国有林で手入れが遅れている里山の整備を実施しました。

藪化した竹林の整備 東吾妻町川戸・新巻・植栗で竹林の保守管理や皆伐作業行いました。

2.) 憩の森に置いて「竹林整備と竹炭シンポジウム」を 3 年連続開催できました。

「厄介者である藪化した竹林を整備するとともに循環型資源としての竹材によるポーラス竹炭（土壌改良材）」を FG21 が K-BETS の協力を得て県内外に発信できました。

8 月・11 月に焼いたポーラス竹炭は地元の熱望により区長を通して地元農家に配布しました。

3.) 今年のイベントで「ポーラス竹炭」を解りやすいパネル説明と竹炭の無料配布で普及啓発できました。

日比谷公園におけるトーマツ監査法人が管理する花壇にポーラス竹炭を施しました。

わたらせ森と木の祭に参加して見学者にポーラス竹炭を無料で配布し普及活動を行いました。

4.) 憩の森で並木小学生に林業体験学習を主導し、山の大切さを教えました。

前橋工業高校生の林業体験学習を開催しました。

5.) 東吾妻町の林道整備を通じて林道の多目的機能がわかりました。

6.) 企業の里山づくりの応援に 10 年以上かかわってきました。

キリン水源の森・トーマツの森・トラックの森・富士通の森

新たに関東製酪の製酪の森にも企業+前橋市と橋渡しができました。

7.) 林業器具の研修を行いました。

チェーンソー補講を10名が受け、2020.8法律改正に伴う労働安全衛生法の対策を行いました
労働安全衛生法受講者を主対象としてFG21独自のチェーンソーの研修を行いました。

8.) 巨樹古木めぐりにおいて年2回の普及活動を行いました。

2. 事業実施の日時

期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日年間計画95回・実施回数80回実施しました。

延べ参加人員1,577人(会員653人一般576人学生204人見学者200人)ともに森や山の整備作業に従事しました。イベントでは多くの見学者がわがブーツに来て山・森・竹炭への関心を高めてもらいました。

3. 事業内容・実施面積

下刈(17.3Ha)除間伐(0.3Ha真竹の皆伐含む)その他植樹作業を行いました。

ポラス竹炭は、約1.5T製造し、土壌改良材として熱望した農家に配布しました。

4. 緑化ボランティアに係る活動の成果

藪化した竹林整備活動を通して理想の森づくり行いました。

竹材からポラス竹炭(土壌改良材)の製造と循環型資源への構築を諮りました。

林業体験学習を通して森林や山の多機能性、生物の多様性を普及活動ができました。

チェーンソーの補講研修会を受講して2020年8月以降の対策もできました。

企業ボランティアの支援を通して森林ボランティア裾野の拡充は計れました。

普及啓発活動を通して竹の間伐材利用の促進ができました。

5. 事業実施地

都道府県名 群馬県管内

市町村名 前橋市・高崎市・渋川市・みどり市・東吾妻町・長野原町。

森林所有者 国・群馬県・市町村・公社・個人

6. 広報誌等の発行

「歩」明るく、楽しくの広報誌として300部発行しました。

作業計画書 毎月20日頃ごろ翌月作業分として発行しました。

活動ニュース 3月毎に作業実施状況を発行しました。

ポラス竹炭 土壌改良材として効用の小冊子を1,000部発行しました。

7. 正会員の見直しをしました。

正個人会員	46名	正法人会員	1社
-------	-----	-------	----

賛助個人会員	4名	賛助法人会員	11社
--------	----	--------	-----

8. 総会及び理事会

総会 令和元年5月11日 憩の森で開催しました。

理事会 第113回4月21日～第118回3月8日まで6回開催しました

9. 募集方法

チラシ・広報誌・ホームページ(<http://www16.ocn.ne.jp/~npo-fg21/>)で行いました。以上

NPO法人 フォレストぐんま21 活動計算書
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1.受取会費			
正会員受取会費	94,000		
賛助会員受取会費	157,000	251,000	
2.受取寄付金	6,720	6,720	
3.受取助成金等			
受取民間助成金			
受取補助金			
4.事業収入		6,046,629	
5.その他収益			
雑収入			
受取利息		29	
経常収益計			6,304,378
II 経常費用			
1.事業費			
(1)人件費			
指導者報酬費	271,440		
管理報酬			
作業報酬	705,745		
福利厚生費	94,991		
人件費計	1,072,176		
(2)その他経費			
教育関連費	16,200		
保険料	266,850		
消耗品費	670,854		
修繕費	182,418		
燃料費	179,541		
旅費交通費	650,140		
事業費	520,000		
寄付金	10,000		
減価償却費			
リース料	759,008		
車両費	1,000		
その他経費計	3,256,011		
事業費計		4,328,187	
2.管理費			
(1)人件費			
業務委託費	585,728		
福利厚生費	66,721		
人件費計	652,449		
(2)その他経費			
事務用品費	27,782		
旅費交通費	199,320		
支払手数料	33,784		
会議費	59,088		
通信費	295,827		
交際接待費	87,539		
諸会費	38,000		
雑費	41,661		
印刷費	426,011		
看板	32,400		
減価償却費			
租税公課	17,340		
リース料	158,104		
その他経費計	1,416,856		
管理費計		2,069,305	
経常費用計			6,397,492
当期経常増減額			△ 93,114
III 経常外収益		0	
IV 経常外費用		0	
当期正味財産増減額			△ 93,114
前期繰越正味財産額			2,382,707
次期繰越正味財産額			2,289,593

NPO法人 フォレストぐんま21 貸借対照表
令和2年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	2,283,566		
仮払金	0		
リサイクル預託金	8,740		
流動資産合計		2,292,306	
2.固定資産			
有形固定資産			
建物	2,268		
構築物	6,310		
機械装置	1		
車両運搬具	1		
工具器具備品	138,707		
固定資産計		147,287	
資産合計			2,439,593
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	150,000		
流動負債合計		150,000	
負債合計			150,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,382,707	
当期正味財産増減額		△ 93,114	
正味財産合計			2,289,593
負債及び正味財産合計			2,439,593

NPO法人 フォレストぐんま21 財産目録
令和2年3月31日現在

(単位:円)


科 目		金 額	
I	資産の部		
	1.流動資産		
	現金預金		
	手許現金	50,000	
	群馬銀行		
	高崎東支店 普通預金	150,002	
	県庁支店 普通預金	1,722,779	
	ゆうちょ銀行		
	振替口座	52,850	
	普通預金	307,935	
	仮払金	0	
	リサイクル預託金	8,740	
	流動資産合計		2,292,306
	2.固定資産		
	有形固定資産		
	テント	2,268	
	マルチハウス	6,310	
	ウィンチ一式	1	
	日立丸鋸一式	1	
	日野トラック	1	
	コンプレッサー	1	
	筑水キャニコム運材車	1	
	和光薪割機	1	
	集材機	1	
	モバイルパソコン	1	
	プロジェクター	1	
	ノートパソコン	138,700	
	固定資産合計		147,287
	資産合計		2,439,593
II	負債の部		
	流動負債		
	未払金	150,000	
	流動負債合計		150,000
	負債合計		150,000
III	正味財産の部		
	前期繰越正味財産	2,382,707	
	当期正味財産増減額	△ 93,114	
	正味財産合計		2,289,593
	負債及び正味財産合計		2,439,593

監 査 報 告

本決算は、令和2年4月26日（日）厳正に監査したところ、現金・預金通帳・諸会計帳簿は、適正に処理されていることを認め皆様方に報告いたします。

令和2年4月26日

監事

泉 久 彦 印

監事

三原 昭 夫 印

2020年度事業計画書案

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

今年、1月から中国発コロナウイルス禍は、日本を始め世界的脅威をふるっております。この為、3月よりFG21もほとんどの行事が中止に追い込まれております。山本一太群馬県知事からFG21理事長あてに自粛要請が出ており、コロナウイルス拡大防止のため4月・5月も身動きならない状態です。収支の面も今年は前述のごとく4半期は収入の部は皆無になり、支出の部も固定費が中心に厳しい推移なるかと思われまます。予算案も前年比の75%に組んでおります。通常通りの総会も行えず紙面でもってみなし総会に代えらざるを得ません。全く厳しいスタートとなりました。会員の皆様方には諸般の状況を鑑みご理解を賜りたくご協力、ご指導をお願いいたします。関係各位におかれましては2020年、異常の年になりました、「理想の森づくり」を目指すFG21にご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

対外的にはあつては、下記施策を行い正会員の拡大を目指します。

1. 長年、FG21の最大課題であった正会員減少に対して積極的に対策を講じてゆきます。広報誌「歩」は「理想の森づくり」に名称変更します。
2. FG21団体案内のパンフレット、勧誘チラシも一新します。
3. 研究テーマとしてこれまで3年間実施しておりますシンポジウムから藪化した竹林の整備と竹材から循環型資源のポーラス竹炭（土壌改良材）を進捗してゆきます。
4. 県内竹林整備しております県内ボランティアに対してオープン型炭化炉（炭之助）の無料貸し出しを行い、ネットワーク構築をしてゆきます。
5. 機会あるごとに「理想の森づくり」必要性をPRしてゆきます。
6. ボランティアのすそ野の拡大に向け企業のボランティアの応援をしてゆきます。

対内的にはあつては、安全第一をモットに下記施策を実行してゆきます。

1. FG21の明るく、楽しく、安全第一の原点に回帰して、前進を図ります。
2. 理想の森づくりに当たり全国に通じる林業技術の研鑽を図ります。
3. 普及啓蒙活動 イベントを通して木材・竹材の利用促進を訴えます。
美しい群馬の自然を訴え、森と協力しあう関係を築きます。

2020年度を迎えるにあたり課題に真摯に取り組み、持続ある団体として「理想の森づくり」を継続します。

役員は心新たにして理事長を筆頭として「礼は之和を以て貴としと為す」とするボランティア活動をもとに19年目を迎え真摯に業務に遂行し全員一丸となりFG21の運営に当たります。

令和2年度活動予算案				
科目	31年度予算	元年実績	令和2予算案	備考
I 経常収益				
1. 正会員会費収入	120,000	94,000	100,000	
賛助会員会費収入	50,000	157,000	150,000	
2. 受取寄付金	100,000	6,720	10,000	
3. 受取助成金				
受取民間助成金	1,000,000	1,000,000		かんぼ生命
受取補助金	450,000	450,000	450,000	群緑推他
4. 事業収入	4,500,000	4,596,629	4,000,000	
5. その他収益				
受取利息	20	29	20	
雑収入				
経常収益計	6,220,020	6,304,378	4,710,020	
II 経常費用				
1. 事業費				
1-1 人件費				
指導者報酬費	60,000	271,440	100,000	
管理報酬				
作業報酬	665,020	705,745	650,000	
福利厚生費	200,000	94,991	100,000	
人件費	925,020	1,072,176	850,000	
2. その他経費				
教育訓練費	50,000	16,200	30,000	
保険料	300,000	266,850	270,000	
消耗品費	800,000	670,854	400,000	
修繕費	100,000	182,418	100,000	
燃料費	250,000	179,541	160,000	
旅費交通費	300,000	650,140	500,000	
事業費		520,000	300,000	
寄付金		10,000		
減価償却費				
リース料	800,000	759,008	450,000	資材車低減
車両費	200,000	1,000	1,000	
備品購入費	60,000			
その他経費計	2,860,000	3,256,011	2,211,000	
事業費計	3,785,020	4,328,187	3,061,000	
2. 管理費				
(1) 人件費				
業務委託費	1,500,000	585,728	550,000	
福利厚生費	100,000	66,721	50,000	
人件費計	1,600,000	652,449	600,000	
(2) その他経費				
事務消耗品費	100,000	27,782	50,000	
旅費交通費	150,000	199,320	130,000	
支払手数料	25,000	33,784	25,000	
会議費	30,000	59,088	55,000	
通信費	250,000	295,827	280,000	
交際接待費	50,000	87,539	50,000	
諸会費	50,000	38,000	40,000	
雑費	160,000	41,661	50,000	
印刷費	450,000	426,011	300,000	
看板		32,400		
租税公課	20,000	17,340	20,000	
リース料	150,000	158,104	150,000	
その他経費計	1,435,000	1,416,856	1,150,000	
管理費計	3,035,000	2,069,305	1,750,000	
経常費用計	6,820,020	6,397,492	4,811,000	
当期経常増減額	0	-93,114	-100,980	
III 経常外費用				
経常外費用計				
当期正味財産増減額	0	-93,114	-100,980	
前期繰越正味財産額	2,312,050	2,382,707	2,289,593	
次期繰越正味財産額	2,312,050	2,289,593	2,188,613	

第3号議案 FG2 1年会費

2019年年会費

個人正会員 2,000円 法人正会員 10,000円

賛助会員 5,000円以上

支払期日 恐れ入りますが7月末までをお願いします。

支払方法 下記いずれかの方法にてをお願いします。

A ゆうちょ銀行 払込書をお願いします。

B 群馬銀行 県庁支店

口座番号 0587062

名義は下記の通り。特定非営利活動法人フォレストぐんま 21

トクヒ) フォレストグンマニジュウイチ

群銀の場合、込手数料は会員各位でご負担をお願いします。

C 総会終了後昨年のガソリン代一部補助を各自の口座に振り込みます。

(一部の方には年会費は各自のガソリン代補助から相殺させていただきます。)

第4号議案 役員改選

3月4月作業計画書等において役員の候補者を自他推薦にてお願いしていましたがどなたも立候補していただけませんでした。従って執行部より下記の人を推薦します。

理事 安藤吉英、市村良平、菊川熙英、西條祝夫、陶和孝、平野瀧次、本間行夫

監事 泉久志、三原昭夫、

第5号議案 借入金限度額設定

理由 事業円滑化するため。

方法 群馬県NPO法人借入金制度を利用する。

銀行 群馬銀行

限度額 50万円を最高として借り入れる。

第6号議案決議効力発生

各号の決議の趣旨に反しない軽微な修正、理事会に一任をお願いします。

以上